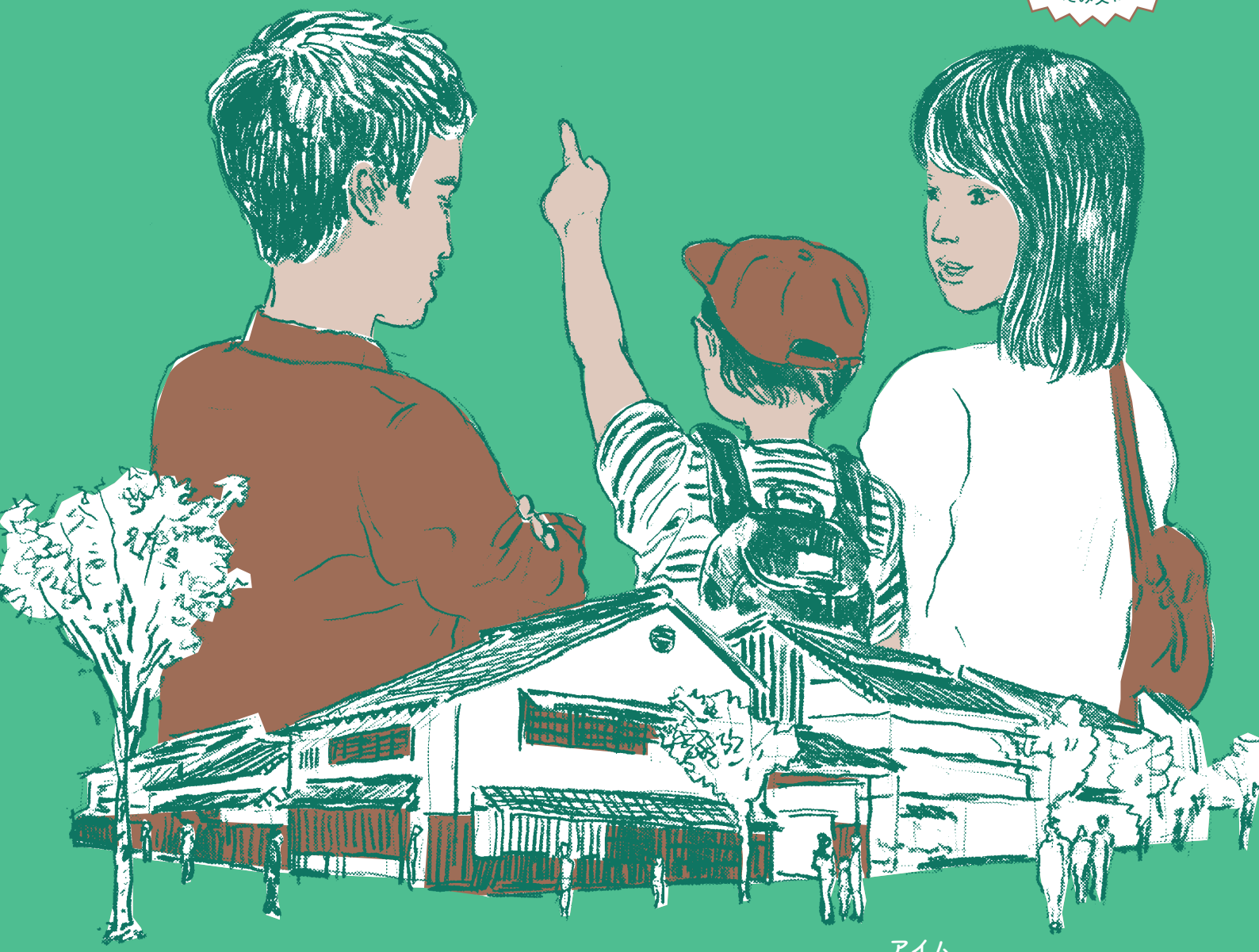
伊丹の文化とスポーツをナビゲート

ITEM

vol. 103

2022 4 5 6 7 月号

ご自由にお持ち下さい
Take Free
公益財団法人 いたみ文化・スポーツ財団



市立伊丹ミュージアム（I/M）
4月22日（金） グランド・オープン！

アイテム
2022年4月1日発行（4・5・6・7月号 / 通巻103号）

デザイン：黒木 雅巳（株式会社 大伸社） 印刷：株式会社 大伸社 発行：公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団
〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前 1-1-3 東り いたみホール（伊丹市立文化会館）内 TEL 072-778-1420 https://itami-cs.or.jp/

ITAMI Culture & Sports Topics

TOLI ITAMI HALL

劇場で楽しむ『がまくんとかえるくんとキミのおはなし』

みなさんに親しまれている絵本「がまくんとかえるくん」シリーズが、俳優、音楽家、みんなで一緒に楽しめる舞台公演になります。キミも、がまくんとかえるくんの世界にいこうよ！

ごまのはえ

5 月 15 日（日） 15:00 ～

料金：一般 2,500 円 /
こども(中学生以下)1,500 円
※当日各 500 円増 / 全席指定
会場：大ホール

絵本『ふたりはともだち』『おてがみ』より
原作：アーノルド・ローベル　翻訳：三木卓
脚本・演出：ごまのはえ　音楽：若山祐美

ピアニカの魔術師　たそがれコンサート

耳馴染みのある曲を鍵盤ハーモニカで今までに想像もできなかった音色と奏法のパフォーマンスで魅了する「ピアニカの魔術師」が登場。

6 月 23 日（木） 19:00 ～

料金：2,500 円 ※当日 500 円増 / 全席自由
会場：中ホール

東り いたみホール（伊丹市立文化会館）

伊丹市宮ノ前 1-1-3　TEL 072-778-8788　https://itami-cs.or.jp/itamihall/
休 館 日＝火曜日（祝日の場合は開館、翌平日休館）　※5/3～5 開館、5/6 休館
開館時間＝9:00～22:00（受付・利用は 21:30 まで）
■JR 伊丹駅より西へ徒歩約 8 分　■阪急伊丹駅より北へ徒歩約3分

AIPHONIC HALL

アイフォニックホール × 市立伊丹ミュージアム 連携事業
＜アイフォニック音楽教室＞

音楽ホールでルネサンスギターを奏でよう！

ウクレレのルーツでもある、“ルネサンスギター” を演奏してみませんか？
初心者や楽譜が読めない方も大歓迎！ 経験者には技量に応じた指導もいたします。

5 月 14・28 日、6 月 11・25 日、7 月 9・16 日（土・全 6 回）14:00 ～ 15:30

料金：12,000 円　※受付中　会場：小ホール 1
講師：佐野健二（リュート・ギター奏者、EMC 主宰、相愛大学 非常勤講師）
対象：下記のいずれかに該当する方
＊伊丹市立工芸センターの「ルネサンスギター製作講座」受講者で、楽器を製作された方
＊ウクレレやギターをお持ちの方（上記講座の楽器製作をされていない方）

伊丹シティフィルハーモニー管弦楽団

ファミリーコンサート Vol.32 ～おなかいっぱい音楽の旅～

鉄道開設 150 周年にちなみ、みなさまを鉄道の旅の情景にいざなうプログラムをお届けします。
【演奏予定曲】ヨハン・シュトラウス二世／ポルカ「観光列車」ほか

5 月 22 日（日）14:00 ～

要整理券 / 全席自由　＊整理券の配布は 4 月下旬予定　会場：東り いたみホール　大ホール
詳細は伊丹アイフォニックホールまでお問い合わせください。

aiphonic 地球音楽プログラム

上野耕平 × 三浦一馬 × 山中惇史トリオコンサート ～サックス・バンドネオン・ピアノによるラテンの響き～

今最も注目を集めている若手実力派トップアーティストが協演！
今年没後 30 年を迎えるピアソラの名曲などを演奏し、情熱のステージをお届けします！

上野耕平　三浦一馬 ©Toshinori Iida　山中惇史 ©Takafumi Ueno

7 月 2 日（土）14:00 ～

料金：一般：4,000 円 / 学生：2,500 円
※当日各 500 円増 / 全席指定 / 未就学児入場不可
会場：メインホール

伊丹アイフォニックホール（伊丹市立音楽ホール）

伊丹市宮ノ前 1-3-30　TEL 072-780-2110　http://aiphonic.jp/
休 館 日＝水曜日（祝日の場合は開館、翌平日休館）
※5/3～5 開館、5/6 休館
開館時間＝9:00～22:00
■JR 伊丹駅より西へ徒歩約7分　■阪急伊丹駅より北へ徒歩約4分

AI・HALL

「みんなの劇場」こどもプログラム

いいむろなおきマイムカンパニー『かえるの？ 王子さま』

パントマイムのあの手この手をつめこんだ、こども向け無言劇がアイホールにまたまた登場。スピード感溢れる舞台を家族みんなでお楽しみください。

撮影：井上大志（LeoLabo）

5 月 28 日（土）11:00～ / 15:00～
29 日（日）11:00～ / 15:00～

料金：おとな 2,500 円（当日 3,000 円）/
こども（3 歳以上中学生以下）1,500 円（当日 2,000 円）
会場：イベントホール

次世代応援企画 break a leg

努力クラブ『誰かが想うよりも私は』 プロトテアトル『レディカンヴァセイション（リライト）』

若い才能の発掘と育成を目的とする “次世代応援企画 break a leg”。これからの次代を担う 2 組の表現者たちの舞台にぜひご期待ください。

【努力クラブ】6 月 4 日（土）・5 日（日）
【プロトテアトル】6 月 11 日（土）・12 日（日）

料金：【努力クラブ】一般前売 2,800 円、【プロトテアトル】一般前売 3,000 円
会場：イベントホール

努力クラブ『誰かが想うよりも私は』作・演出：合田団地
プロトテアトル『レディカンヴァセイション（リライト）』作・演出：FO ペレイラ宏一朗
※各公演の詳細はアイホールまで。

アイホール（伊丹市立演劇ホール）

伊丹市伊丹 2-4-1　TEL 072-782-2000　http://www.aihall.com/
休 館 日＝火曜日（5/3 休館）
開館時間＝9:00～22:00
■JR 伊丹駅前 / 阪急伊丹駅より東へ徒歩約 10 分

LUSTRE HALL

大人対象

英会話講座

英会話に興味がある方大歓迎！ 授業は英語で行いますが、内容は初級レベル。ネイティブスピーカーの先生がユーモアたっぷりに指導します。

4 月 9 日～ 6 月 25 日
全 10 回（全て土曜日）
10:15 ～ 11:45

料金：11,000 円
会場：2 階　多目的室 2 または音楽練習室
※詳細はお問い合わせください。

皆でつくる歌声広場 ～童謡・叙情歌・懐かしの歌を歌いましょう～

ラスタホールの講座「懐かしの歌を皆で歌おう」の受講生とヴォーカリスト EMY のリードのもと、楽しく歌いリフレッシュしましょう。

6 月 26 日（日） 14:00～

料金：300 円
会場：2 階　多目的ホール

朗読ワークショップ＆発表会

ラスタホールの朗読ワークショップ受講生による、朗読劇の発表公演。講座の成果をぜひご覧ください。

6 月 25 日（土）　14:00 ～

料金：入場無料　会場：2 階　多目的ホール
朗読ワークショップ講座受講生を募集します。
4 月 21 日（木）～全 10 回で受講料は 12,000 円。詳細はお問い合わせください。

ラスタホール（伊丹市立生涯学習センター）

伊丹市南野 2-3-25　TEL 072-781-8877　https://lustrehall.com/
休 館 日＝火曜日（祝日の場合は開館、翌平日休館）　※5/3～5 開館、5/6 休館
開館時間＝9:00～21:00（月～土）9:00～17:00（日祝）
■JR 伊丹駅および阪急伊丹駅より 伊丹市バス系統（37）阪急塚口行「稲野町 8 丁目」バス停下車徒歩 1 分
■阪急神戸線塚口駅北側出口より伊丹市バス系統（37）阪急伊丹・JR 伊丹行、もしくは系統（40）三師団交通局前行、いずれも「ラスタホール前」下車すぐ。
■阪急稲野駅より西へ徒歩 600 メートル

MUSEUM OF INSECTS

企画展「伊丹の自然」

春から夏は、昆虫たちの活動がいちばんにぎやかになる季節です。伊丹市内の公園や河川敷で観察できるチョウやバッタ、トンボ、コウチュウなどの昆虫や生きものを紹介します。

ヒメカメノコテントウ

5 月 11 日（水）～ 7 月 11 日（月）

料金：大人 400 円 / 中高生 200 円 / 3 歳～小学生 100 円
会場：2 階第 2 展示室

プチ展示

「10 年間ふるさとなみえ博物館」

2011 年の原発事故後、福島県浪江町から二本松市に避難した小学校での郷土学習「ふるさとなみえ科」。その学習成果を最後の卒業生が展示にした「10 年間ふるさとなみえ博物館」を関西で巡回開催。

5 月 25 日（水）～ 6 月 27 日（月）

料金：大人 400 円 / 中高生 200 円 / 3 歳～小学生 100 円
会場：1 階特別展示室

伊丹市昆虫館

伊丹市昆陽池 3-1 昆陽池公園内
TEL 072-785-3582　https://www.itakon.com/
休 館 日＝火曜日（祝日の場合は開館、翌日休館）　※5/3 開館
開館時間＝9:30～16:30　※入館は 16:00 まで
入 館 料＝大人 400 円 / 中高生 200 円 / 3 歳～小学生 100 円 / 0 ～ 2 歳は無料
■JR 伊丹駅前の 4 番のりば、もしくは阪急伊丹駅前 4 番のりばから市バスに乗車し、「松ヶ丘」バス停下車徒歩約12分、もしくは「玉田団地」バス停下車徒歩約 2 分

SPORTS CENTER

～親子 de 楽しく動こう！～

スポーツセンター出張親子教室

親子でふれあいながら、リズム遊び等、楽しく体を動かします。

木：5/12・19・26（2 歳児）、6/2・9・16（1 歳児）
土：5/14（2 歳児）、5/21（1 歳児）

料金：木：4,500 円・土：1,500 円
会場：東り いたみホール　定員：各日 20 組

ふうせんバレー

バレーボール用ボールの代わりにゴム風船を使います。子どもから高齢者まで、障がいの有る無しに関わらず一緒に楽しめるスポーツです。

4 月 24 日（日）

料金：500 円
会場：体育館 競技フロア

タイガースベースボールアカデミー 4 月開講

伊丹スポーツセンター野球場でタイガースベースボールアカデミーを開講。詳細は同アカデミーホームページで！

4 月～ 2023 年 3 月

料金：同アカデミー HP 参照　会場：野球場
タイガースベースボールアカデミー HP
https://hanshintigers.jp/academy/baseball_school/

厚生労働大臣認定 健康増進施設

2022 年 2 月 3 日付で「運動型健康増進施設」として、健康運動指導士の配置、有酸素運動及び筋力強化運動等の補強運動が安全に行える設備の配置、医療機関と適切な連携を有するなどの施設基準をクリアし認定されました。

伊丹市立伊丹スポーツセンター

伊丹市鴻池 1 丁目 1 - 1　TEL 072-783-5613　http://www.itami-sports.jp/
休 館 日＝12/28 ～ 1/4
開館時間＝9:00 ～ 21:00（季節により異なる）、窓口受付時間＝8:30 ～ 20:00
■市バス JR 伊丹・阪急伊丹両駅前「2 番のりば」から「荒牧バラ公園」方面行きで「スポーツセンター前」バス停下車すぐ

LIBRARY LUSTRE

伊丹市立図書館南分館

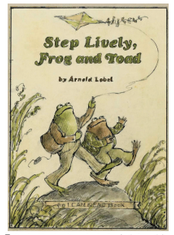
伊丹市南野 2-3-25（ラスタホール内）
TEL 072-781-7333　http://www.library-lustre.com/
休 館 日＝火曜日（祝日の場合は開館、翌平日休館）、毎月末日、特別整理期間
※5/3～5 開館、5/6 休館
開館時間＝9:30～19:00（月・水～金）、9:30～17:00（土日祝）

ITAMI CITY MUSEUM OF ART, HISTORY AND CULTURE

「がまくんとかえるくん」誕生 50 周年記念

アーノルド・ローベル展

出版されてから半世紀を経た今なお世界中で愛されている「がまくんとかえるくん」をはじめ、アメリカの絵本作家アーノルド・ローベルが生んだ数々の絵本の原画やスケッチなど約 200 点をご紹介します。



『ふたりは きょうも』表紙下絵

4 月 22 日（金）～ 6 月 5 日（日）

料金：一般 1,000 円 / 大高生 700 円 / 中小生 400 円
会場：展示室 2・3・5

Courtesy of the Estate of Arnold Lobel.
©1979 Arnold Lobel.
Used by permission of HarperCollins Publishers.

柿衛文庫コレクション

「酒と俳諧」展

2020 年度日本遺産に認定された伊丹発祥の清酒「伊丹諸白」をテーマとして、西鶴や鬼貫、頼山陽など酒どころ伊丹にまつわる人物の作品や、お酒に関する近現代の作品をご紹介します。

《高橋草坪筆台柿図》

4 月 22 日（金）～ 6 月 5 日（日）

料金：一般 200 円 / 大高生 150 円 / 中小生 100 円
会場：展示室1

「丹波の工芸―杜のいろ」

兵庫丹波を中心に活動する工芸作家 17 名の作品を一堂に展示します。丹波焼、丹波布、王地山焼のほかガラス、版画など多彩なジャンルの作品をご覧ください。

馬川祐輔《life》

4 月 22 日（金）～ 6 月 5 日（日）

料金：入場無料
会場：展示室 6
講演会「民藝に誘われて―丹波の布と焼き物」 5 月 21 日（土）14:00 ～
講師：鞍田崇（哲学者、明治大学理工学部准教授）
聴講無料 ※当日 10 時より展示室 6 受付にて整理券配布

I/M（アイム）コレクション展

旧伊丹市立美術館、旧伊丹市立工芸センター、旧伊丹市立博物館、柿衛文庫のコレクションを継承する市立伊丹ミュージアム（I/M）の所蔵品を分野横断的にご紹介します。

オノレ・ドーミエ
《ドン・キホーテとサンチョ・パンサ》

6 月 14 日（火）～7 月 3 日（日）

料金：一般 400 円 / 大高生 300 円 / 中小生 200 円
会場：展示室1・2・3

伊丹郷町クラフトショップ オープン！

おなじみのショップがリニューアル！ 江戸時代の店舗を活かした店内には、陶芸、ガラス、染織、木工、漆、ジュエリーなどの全国の工芸作家の作品がずらり。普段の暮らしに、贈り物に、お気に入りを見つけに来てください。

4 月 22 日（金）～

会場：旧石橋家住宅 1 階

市立伊丹ミュージアム

伊丹市宮ノ前 2-5-20
TEL 072-772-5959（代表）https://itami-im.jp/
休 館 日＝月曜日（祝日の場合は開館、翌平日休館）　※5/2 休館
開館時間＝10:00～18:00（入館は 17:30 まで）

※新型コロナウイルス感染症対策のため、受付時間等が変更になる可能性があります。

ミニ 財団ニュース　伊丹アイフォニックホールのマスコットキャラクター・えーぴーちゃん。チャームポイントはキュートなお目目！ホールの屋根をイメージしたベレー帽にも注目です。館内の色々なところにおりますので、ぜひ探してみてくださいね！ほぼ毎日 Twitter でつぶやいています♪

Pick Up Topics
市立伊丹ミュージアム

完成予想図

市立伊丹ミュージアム（I/M（アイム））　4月22日（金）グランド・オープン！

兵庫県南東部に位置する伊丹市は、江戸時代には「酒のまち」として繁栄し、文人墨客が訪れる文化の薫り高いまちでした。その歴史と文化を継承し、長きにわたって発信してきた文化ゾーン「みやのまえ文化の郷」には、柿衛文庫、市立美術館、市立工芸センター、市立伊丹郷町館の４つの施設が集まり、多くの人びとから親しまれてきました。そして今春、この地に市立博物館の機能を移転し、全ての施設を統合した「市立伊丹ミュージアム」が開館しました。

市立伊丹ミュージアムのテーマは「酒と文化の薫るまち」のミュージアム。美術・工芸・俳諧・歴史と多彩な分野におよぶ収蔵品を中心に、幅広い世代の人びとが楽しめる展覧会や講座、伊丹の酒造りを伝える歴史建造物の継承と公開、地域コミュニティとつながるイベントなど、芸術文化を通して「人」と「まち」をつなげる活動を行います。そして、伊丹の、私の、みんなのミュージアムとして親しまれることを目指し、「I / M（アイム）」という略称を付けました。

生まれ変わり、新たな一歩を踏み出す市立伊丹ミュージアム。

４月 22 日（金）のグランド・オープンと同時に３本の展覧会が開幕し、さらに４月 22 日～24 日の３日間にはさまざまなオープニング・イベントも開催します。みなさまぜひお越しください。

オープニング・イベント（一部）

4月22日（金）：型染ステンシルでオープニンググッズをつくろう
23日（土）：座談会「SAKE がデザインする縁」
銅版画プレス機で「がまくんとかえるくん」の記念エコバッグをつくろう
24日（日）：日本遺産イベント（伊丹市都市ブランド・観光戦略課主催）

＜郷町（マル）○店＞　美味しいものを販売する人気のお店がミュージアムにやってきます！

4月22日（金）：SH16MA DOUGHNUTS（シロクマドーナツ）
23日（土）：Itami Bakery
24日（日）：フレンチアップルパイ専門店 エコノム

I'M 市立伊丹ミュージアム Itami City Museum of Art, History and Culture

市立伊丹ミュージアム　https://itami-im.jp/
〒664-0895 伊丹市宮ノ前 2-5-20
TEL. 072-772-5959（代表）
開館時間：10:00～18:00（入館は 17:30 まで）
休館日：月曜日（祝日の場合は開館、翌平日休館）

みなみさんの とっておきの1冊（ミュージアム探訪編）

伊丹市立図書館 南分館

いよいよ「市立伊丹ミュージアム」がオープン。きれいになってどこから観ようか楽しみですね。その中でも家族みんなで楽しめる特別展「アーノルド・ローベル展」をおすすめします！

ローベルは水彩やインクなど多彩な画材を使ったユーモアあふれる作品で知られ、長く子どもたちに愛されてきました。

なんといってもはずせない、このシリーズから。

『ふたりは ともだち』三木 卓／訳（文化出版局）

「がまくんとかえるくん」のコンビがくりひろげる思わずわらってしまうゆかいな毎日。

一話目の「はるがきた」では、春がきてもおきないがまくん。どうしてもがまくんといっしょに遊びたいかえるくんは、カレンダーをびりびりやぶって5月にしてしまいます！教科書でおなじみの「おてがみ」のおはなしはこの巻に収められています。

「がまくんとかえるくん」のシリーズは、『ふたりは いっしょ』『ふたりは いつも』『ふたりは きょうも』と続きます。英語版（『Frog and Toad Are Friends』）もあるので、原語で楽しむのもおすすめですね。

＊南分館に所蔵しています。

春夏秋冬、ふたりはいつもいっしょです。

ローベルが「がまくんとかえるくん」より前に、カエルを主役にした絵本があります。

『カエルもヒキガエルもうたえる』アーサー・ビナード／訳（長崎出版）

この絵本は、娘で舞台芸術家のエイドリアンが彩色しています。実はこの本はもともと、ローベルが友人にプレゼントしたモノクロの手作り絵本なのです。彼が亡くなって二十年のちに競売にかけられ、それがコレクターの手へ渡り、エイドリアンへ連絡がきたというドラマチックな一冊です。鮮やかな色彩や、後の「がまくんとかえるくん」との絵のタッチの違いも楽しんでいただきたいです。

また、多くのローベルの絵本を翻訳しているのが作家、翻訳家、そして詩人でもある三木卓さんです。戦後の混乱期に生きる兄弟を描いた小説『鶸（ひわ）』で芥川賞を受賞されています。弱い者の気持ちを丁寧に描いた作品です。この機会に読んでみてはいかがでしょうか。

リニューアルしたミュージアムを楽しみながら、アーノルド・ローベルの世界にどっぷりひたりましょう！　南分館もがまくんたちの絵本を展示しています。ぜひご来館くださいね。